

# 会議記録

会議名称	第10期（平成30・31年度）第3回杉並区男女共同参画推進区民懇談会	
日時	平成31年3月20日（水） 午後3時00分～4時30分	
会場	杉並区立男女平等推進センター集会室2	
出席者	委員	9名 村松委員、高畑委員、原委員、山田委員、清水委員、長澤委員、赤池委員、大津委員、石川委員 ※欠席者7名
		事務局
	傍聴者	0名
	配布資料	資料1 男女平等推進センター概要 資料2 平成31年度 男女共同参画施策の予算と主要な取組 資料3 職員研修実施報告書 参考 第2回男女共同参画推進区民懇談会 会議記録 杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（平成29年度実績） 男女共同参画の視点で伝える表現ガイド
会議次第	1 開会 2 議題 （1）男女平等推進センターを活性化するために～現状と課題～ ①男女平等推進センター概要 ②ゆう杉並（児童青少年センター及び男女平等推進センター）施設見学 ③男女平等推進センターの活性化に向けた意見交換 3 その他 4 連絡事項等 5 閉会	
会議要旨	1 開会 ○男女共同参画担当課長 男女共同参画推進区民懇談会（以下、「懇談会」）を公開とすること、会議録を作成し区公式ホームページで公開するため会を録音することについて説明。 2 議題（1）男女平等推進センター（以下、「男女センター」）を活性化するために～現状と課題～ ○男女共同参画担当課長 ①男女センター概要について、資料1に基づき説明（省略）。 ○委員 相談事業について説明があったが、一般相談・DV相談・法律相談の件数はどの程度か。 ○男女共同参画担当課長 本日配布した「男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（平成29年度実績）」P57にDV相談の件数が、またP61に一般相談及び法律相談の件数が掲載されている。 ○委員 一般相談の件数が平成27年度から28年度に大きく減少しているのはなぜか。 ○男女共同参画担当課長 平成28年4月にDV相談専用ダイヤルを設けたことにより、一般相談からDV相談に流れたと思われる。 ○委員 一般相談及びDV相談の相談員は、どのような資格を有しているのか。 ○男女共同参画担当課長 臨床心理士などの専門の資格を有する者がローテーションで常に2～3名勤務し、相談対応を行っている。 ○委員 一般相談では、どのような相談が多いのか。 ○男女共同参画担当課長 仕事の悩みや家族関係の悩みが多い。 ○委員 相談における特徴などはあるか。	

- 男女共同参画担当課長 特にDV相談において、深刻なものが多くなっている印象がある。
- 委員 DVと児童虐待との関連が大きな社会問題となっているが、区内部での連携はどのようになされているのか。
- 委員 DVと児童虐待の関連については、婦人相談員とDV相談員との連携を密にするよう以前から団体として要望しているが、どのようになされているのか。
- 男女共同参画担当課長 相談においては可能な限り家族構成を聞き取り、子どもがいる場合はその状況についても聞き取ったうえで、虐待の疑いがあれば関係機関につなげている。
- 男女共同・犯罪被害者支援係長 区内3警察署、児童相談所の外部関係機関と子ども家庭支援センター、福祉事務所など区内部の関係部署が年に数回会議を行い、情報共有し連携を図っている。
- 委員 男性からの相談はあるのか。また、それはどの程度の割合か。
- 男女共同参画担当課長 一般相談にもDV相談にも男性からの相談はあり、その割合は約10%である。
- 委員 男女センター登録団体が平成28年度以降10団体となっているが、その10団体は同じ団体で、広がりなどはないのか。
- 男女共同・犯罪被害者支援係長 利用を促すチラシを様々な機会を捉えて配布するなど、可能な限りのPRに努めているが、なかなか増えないのが現状である。
- 委員 男女センターを区内に複数化することは考えていないのか。
- 男女共同参画担当課長 現状ではその予定はない。
- 委員 男女センター登録団体を、施設利用の主体としてだけでなく、杉並区における男女共同参画施策推進に協力する団体として位置付け、周知を図っていく必要がある。
- 委員 男女センターまでの交通の便が悪いということに尽きるのではないか。

## 2 議題(1) 男女センターを活性化するために～現状と課題～

②ゆう杉並(児童青少年センター及び男女センター)施設見学について、児童青少年課職員による説明を受けながら施設内を見学。

③男女センターの活性化に向けた意見交換

- 委員 今回初めて施設を見学した。普段、男女共同参画に関する施設や取組を見ることはあまりないが、会社としても男女共同参画を意識しているため、今後は積極的に利用していきたい。
- 委員 非常に立派な施設であり、もう少し活用が進めばよい。相談業務は専門の相談員が配置されているようだが、DVやその他の相談を横の連携でつなげていくことが重要である。
- 委員 男女センターで毎月会議を行っているが、交流コーナーに人がほとんどいないことをいつも憂慮している。
- 委員 以前に一度、男女センターに来たことがあるが、その後はこれまで訪れていなかった。蔵書についてなど、もう少し情報発信ができればよい。また、ユーザーである女性たちを巻き込み、もっと参画できる仕掛けを考えていく必要がある。現在施設を利用している子どもたちの父親・母親たちが来てくれるとよいだろう。
- 委員 男女平等の観点から、様々な企画を発信していくことが重要である。また、物理的な施設利用についてよりも、必要な情報がいつでもどこでも入手できることが重要であり、蔵書の利用についても改めて考える必要がある。
- 委員 困っている人が相談をしやすい雰囲気作りが必要である。また、会議室に関して、特定の団体のカラーがあると思われるが、より多くの方が利用するほうが良い。区立施設の再編が進んでいるようだが、男女センターの有効性をもっと積極的にPRしていく必要がある。
- 委員 男女センターという施設自体の活性化が重要なのではなく、区内全体にどのような価値を提供できるのかということが重要である。施設の利用は手段でしかなく、実績作りのために稼働率を上げることと男女共同参画が進むことは別である。
- 委員 相談事業として来所相談を受けるうえで、人目につきづらい場所にある男女センターで実施しているのか。

- 男女共同・犯罪被害者支援係長 以前は男女センター内で相談業務を実施していたが、平成 28 年度の配偶者暴力相談支援センター機能整備以降、相談業務は区役所本庁舎内で実施している。
- 委員 ネット社会となった現在においては、情報発信のあり方を検討し、男女センターをその拠点とすべきである。また、男女センターの蔵書を区立図書館で借りられるようにするなど、蔵書が流通しやすくした方がよい。
- 男女共同参画担当課長 男女センターの蔵書を区立図書館のシステムに組み込むには、費用がかかる。また、重複する蔵書の整理などを進める中で、男女センターの蔵書が非常に少なくなるまたは男女センターの蔵書自体がなくなるなどの課題もある。
- 委員 男女共同参画を推進していくためには、制度と意識改革の二つが重要である。区内の高校や大学に出前で講座をするといった取組が必要であるし、男女センターの蔵書については、電子化して多くの区民が見られるようにすべきである。  
また、懇談会は夜間開催を、懇談会スケジュールは年間単位での提示を希望する。前回懇談会で、今後の病児保育の見通しを伺いたいと尋ねたが、いかがか。
- 男女共同参画担当課長 病児保育は増やしていく方向であるが、区では病院と連携し、病院の中で預かる病児保育を進めている。今後は、協力していただける病院を増やしていく方向である。

### 3 その他

- 男女共同参画担当課長 平成 31 年度男女共同参画施策の予算と主要な取組について、資料 2 に基づき説明(省略)。また、職員研修の実施について、資料 3 に基づき説明(省略)。  
職員研修の講師を務めた村松委員から、感想等を伺いたい。
- 委員 男女共同参画の現状と課題、男女の固定的役割分担意識と好ましい表現、LGBT など 2 時間で多様な内容の研修となったため、「詰め込みすぎ」といった少し厳しい意見もあった。懇談会で様々な意見を出して作成した「男女共同参画の視点で伝える表現ガイド」は概ね好評だったが、「表紙がカラフル過ぎて、色覚の不自由な人には見づらくなっているのではないか」という意見があり、多様性への配慮というのは本当に難しく、不十分だったと反省した。

### 4 連絡事項等

- 男女共同・犯罪被害者支援係長 平成 30 年度における懇談会は本日が最後であること、次回懇談会の予定などについて説明。

### 5 閉会

以上